

2024年度東京海洋大学海洋生命科学部海洋政策文化学科 総合型選抜（第2次選抜）聴講論文 問題用紙（1/1）

2023年11月22日

※ 解答は解答用紙の所定の欄に記入すること
問題用紙は持ち帰らないこと

受験番号	氏名

今日の模擬講義を踏まえ、以下の問に答えよ。

問1 中井昭。「魚ばなれ」の原因と課題」（1984年）の「魚ばなれ」という言葉と、水産庁編『2020年版 水産白書』の「魚離れ」という言葉がそれぞれ示している事象について、両者の違いを100字～150字で説明しなさい。

(10点)

問2 表2の「学生」の結果について、その特徴的な点を1つ挙げ、その特徴に対して魚食の増加を図るためには、どのような策を講ずれば良かったと考えますか。100字～150字で説明しなさい。

(10点)

問3 「魚ばなれ」に対する中井昭の「和風食の復活拡大」という課題の認識をどのように評価しますか。その評価を次のabcから一つ選び、講義で用いられたデータに言及して、その評価の理由を100字～150字で説明しなさい。なお、abcのいずれを選んでも点数には影響しない。

- a 正しかった
- b 正しくなかった
- c 正しい面も正しくない面もあった

(10点)

問4 水産庁編『2020年版 水産白書』のコラム「魚離れ≠魚嫌い」が魚介類の消費への「様々なハードル」としているものを表1の回答（「その他」を除く）のうちから1つ選び、その「ハードル」を解消する方法を200字～400字で提案しなさい。その際、何（誰）が、何（誰）に、どのようなことをするのか、具体的に説明すること。

(20点)